

■学校教育法施行規則第百六十五条の二第一項により定める方針

■入学者の受入れに関する方針【アドミッション・ポリシー】

### 教育学部（教員養成課程、教育支援専門職養成課程）

愛知教育大学は、広域の拠点的役割をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成をめざします。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識と技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成をめざします。

そこで、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- ◎確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- ◎知的な創造力や探究心をみがぐことに意欲を持つ人
- ◎多様な考えや価値観を持つ人を認め、協働できる人
- ◎学校と地域社会の関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

#### （入学選抜の基本方針）

大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦A）の他、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦B）及び一般入試（前期日程、後期日程）により入学者を選抜します。

推薦入試における大学入試センター試験を課さない推薦Aでは、教員や教育支援専門職となるにふさわしい知識、技能、適性、資質、意欲、態度を出身学校の調査書、小論文、面接、実技検査等ではかり、総合的に評価します。また、大学入試センター試験を課す推薦Bでは、大学入試センター試験の成績、出身学校の調査書、面接により総合的に評価します。

一般入試における前期日程では大学入試センター試験の成績とともに、個別学力検査（小論文（教員養成課程のみ）、教科に関する問題または総合問題または実技検査または面接）、出身学校の調査書により総合的に評価します。後期日程では、大学入試センター試験の成績とともに、面接、出身学校の調査書により総合的に評価します。

これらの選抜以外に、所定の出願資格を満たす人を対象とした帰国子女入試と外国人留学生入試があります。

## 大学院教育学研究科 修士課程

愛知教育大学は、広域の拠点的作用をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

教育学研究科修士課程では、教科専門ならびに教育実践に関わる研究能力を有する教員・研究者の育成をめざします。本課程では、学士課程や教育現場で培った能力に加え、教員や専門職、研究者への強い志を持った、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長に関われることに喜びを感じ、教員や専門職、研究者として教育の場で先導的役割を担う意欲を持つ人
- ◎教育に関する基本的な知識・技能を有し、さらに深く学び研究する意欲を持つ人

### (入学者選抜の基本方針)

一般選抜、及び現職教員、社会人等を対象とした特例措置選抜を行いません。

一般選抜では、研究能力を有する教員・研究者となるにふさわしい知識、技能、適性、資質、意欲、態度を学力検査（領域別外国語科目、専攻に関する科目）及び口述試験、出身大学の成績証明書等ではかり、総合的に評価します。

特例措置選抜では学力検査は課さず、小論文、実技検査、口述試験、教育研究業績等により総合的に評価します。

これらの選抜以外に、所定の出願資格を満たす外国籍の人を対象とした外国人学生特別選抜入試があります。

## 大学院教育実践研究科 教職大学院の課程

愛知教育大学は、広域の拠点的作用をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

教育実践研究科（教職大学院）では、確かな指導理論と実践力・応用力を備え、学校教育の場で指導的役割を果たし得る教員の育成をめざします。本課程では、学士課程や教育現場で培った能力に加え、教員への強い志を持った、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長・発達に喜びを感じられる教員を目指す強い意志と情熱を持つ人
- ◎教科指導・学級経営等に関する確かな基礎知識を有し、教育実践や学級・学校経営に活用できる理論を導き出すことに興味関心を持つ人
- ◎自分の行為を振り返り、問題を発見し、その解決に向けて工夫できる人

### (入学者選抜の基本方針)

学部直進者を対象とした推薦選抜と一般選抜、社会人を対象とした一般選抜と特例措置選抜、現職教員を対象とした入学者選抜を行いません。

一般選抜においては、学校教育の場で指導的役割を果たし得る教員になるにふさわしい知識、技能、適性、資質、意欲、態度を学力検査、小論文、研究計画、プレゼンテーションではかり、総合的に評価します。また、社会人特例措置選抜では学力検査の一部は課しません。

推薦選抜や現職教員を対象とした選抜においては、学力検査は課さず、小論文、研究計画、プレゼンテーションにより総合的に評価します。

## 大学院教育学研究科 後期3年博士課程

共同教科開発学専攻は、愛知教育大学と静岡大学が共同して教育課程を構成している後期3年だけの博士課程です。本共同専攻では、子どもたちを取り巻く環境を視野に入れ、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑化、多様化した諸課題に対応した教育及び研究を行っています。

本共同専攻は、教科開発学について高度で専門的な教育及び研究を行うことで、次のような能力を持つ者の育成を目指しています。

- ◎教育事象の因果関係を把握し、教科との関わりの中で学校教育が抱える諸課題に対応した研究を自立して遂行できる能力
- ◎学術的及び専門的知見を教科内容として構成し、教育論、教科内容の構成原理や教育方法、教材を開発する能力
- ◎学校教育の実践を理論化し、その理論を実践に活かす能力

本共同専攻では、大学院修士課程又は専門職学位課程や教育現場等で培った十分な学力、研究力、実践力に加え、新たな学問分野に挑戦する意欲を有し、博士の学位取得後、教科開発学の分野において自立して研究と実践を行い、大学教員をはじめとした研究者として、広く教育界に貢献する意志がある者を求めています。

## 特別支援教育特別専攻科（特別支援教育専攻）

愛知教育大学は、広域の拠点的作用をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

特別支援教育特別専攻科（特別支援教育専攻）では、子どもたちの障害の多様化、重度化、重複化が進む特別支援教育現場に対応するため、知的障害、肢体不自由、病弱に関する充実した専門教育を通して、実践的な指導力のある教員の養成をめざします。

そこで、次のような人を求めています。

- ◎障害のある子どもの成長・発達に喜びを感じられる特別支援教育に関わる教員を目指す強い意志と情熱を持つ人
- ◎特別支援教育に関わる教員として必要な基礎学力があり、高い教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- ◎主体性をもって多様な人々と協働できる人

（入学者選抜の基本方針）

一般選抜、及び教育委員会派遣現職教員等を対象とした特例措置選抜を行いません。

一般選抜においては、特別支援教育に関わる教員となるにふさわしい知識、技能、適性、資質、意欲、態度を筆記試験、小論文、最終出身学校の成績証明書ではかり、総合的に評価します。

特例措置選抜においては、筆記試験は課さず、小論文、口述試験、最終出身学校の成績証明書により総合的に評価します。